

## 令和 3 年度ごみ対策課の主な事業

## 1 次期調布市一般廃棄物処理基本計画の策定に向けた取組

(現行計画期間と計画目標年次)

年度	西暦 (元号)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25) 開始年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元) 改訂年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
前計画		1997 ~ 2012 (H9) ~ (H24)		現行計画 (一般廃棄物処理基本計画) 2013 (H25) ~ 2022 (R4)						本計画 2019 ~ 2022 (R元) ~ (R4)			
									中間目標				目標年次

(次期基本計画概要)

計画期間 : 令和 5 年度 (2023) ~ 令和 14 年度 (2032) の 10 年間

策定期間等 : 令和 3, 4 年度の 2 年間

策定委員会を設置 (市民, 学識経験者, 行政職員, 事業者)

## 2 今後のごみ減量と資源化の課題【重点課題】

## (1) 食品ロス対策について

食品ロスは燃やせるごみの 9.7% を占め、食品ロスの削減はごみの減量に直結する重要な課題として、市報やホームページ、広報誌「ザ・リサイクル」等を通じて、市民・事業者の取組を促進します。

## (2) 枝・草・葉の資源化について

枝のリサイクルについては、特殊車両によるチップ化で資源化を実施しております。今後更なる資源化を推進するため、燃やせるごみで排出される枝・草・葉について、新たな資源化施策を検討します。

## (3) プラスチック使用製品廃棄物の資源化について

現在、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」については、国会で審議中です。成立後、法案内容を踏まえ、容器包装再商品化法の仕組みを活用したプラスチック使用製品廃棄物の再商品化等により、プラスチック使用製品廃棄物の資源化を検討します。